

麻辣湯がトマらない！

106
トマトでつくる新たな
つくばみらい市

1 探究の目的

- ・つくばみらいのブランド「まっ赤なトマトっ娘」をより多くの人々に知ってもらうために、ただ美味しいトマトとして知名度を広げるのは難しいと考えた。
- ・今若者の間で人気の麻辣湯と組み合わせ、「まっ赤なトマトっ娘麻辣湯」の素を開発することで、「まっ赤なトマトっ娘」のおいしさを多くの人々に知ってもらい、つくばみらい市の知名度上昇を狙う。

2 調査方法

- ・特産品である「トマトっ娘」を主に利用してトマト麻辣湯を作る。
- ・アンケートで「まっ赤なトマトっ娘」の知名度と麻辣湯の知名度を調べる。
- ・麻辣湯とトマトを合わせることで「まっ赤なトマトっ娘」の知名度が上がるか調べる。

4 結果

<味の感想>

トマトの良さ（旨味）が消えてしまったのでトマトをペースト状にして加えることでトマトの味をもっと感じられるようにしたい。少し辛くて小さい子は食べづらいと思ったので万人受けする麻辣湯にしていきたい。

<アンケート>

「まっ赤なトマトっ娘」を知っている。 0/30
麻辣湯を知っている。 27/30

<結論>

このような結果から「まっ赤なトマトっ娘」を知ってもらうには麻辣湯と掛け合わせることが有益であることが分かった。

また、インスタグラムで制作動画をアップしたところコメントでは、今までつくばみらい市に住んでいて知らなかったがこの動画を機に知れたという人がいた。

3 実際の様子



5 私たちの提案

「まっ赤なトマトっ娘麻辣湯」を、まずはつくばみらい市農協や既存店舗にて販売する。それと同時にSNSでPRを行い、得たデータのもと生産量を調整・拡大するとともに、材料である「まっ赤なトマトっ娘」もあわせて販売を展開することで市民に限らず県全体での知名度向上を図る。